

説明要旨

- (1) これまでの検討会・出水期の振り返り（資料 1）
- ・ 令和 5 年第 1 回検討会（令和 5 年 6 月 6 日）では、タイムラインの概要説明や読み合わせを実施【P1】。
 - ・ 令和 5 年度出水期ではタイムラインを 3 回立ち上げ、そのうち台風第 7 号では天神川小田水位観測所及び三徳川三朝水位観測所において避難判断水位を超過【P3、P5】。
- (2) アンケート結果を踏まえた天神川水害タイムラインの見直しについて（資料 2）
出水期振り返りアンケート調査結果を踏まえ、タイムラインの見直し案を作成。

<アンケート調査結果>

①タイムラインの活用状況

- ・ タイムラインの運用でこれまでの洪水時の対応と変化したこととして、「他機関の行動が把握できる（8 機関）」、「先を見越せる（7 機関）」といった意見が多く挙げられた【P2】。
- ・ 活用状況としては、出水時に確認（9 機関）だけでなく、平常時に確認（4 機関）した機関もあった【P3】。
- ・ そのうち、「運用支援システム」が最も多く活用（10 機関）されていた【P4】。

②タイムラインの修正について

- ・ タイムライン詳細版・総括版に修正すべき箇所があると回答した機関はなかった【P8】。
- ・ 運用支援システムへの修正意見としては、「カメラ画像の下に水位を表示」「天神川に接続する樋門の操作状況を追加」「雪道ナビを追加」が挙げられた【P9】。

③タイムライン運用方法について

- ・ タイムラインに関連する情報の定期連絡について、定期連絡実施について賛否が分かれた（賛成：13 機関、反対：9 機関、その他：5 機関）。このとき、「定期連絡ではなく、氾濫危険水位を超過したときに緊急連絡をしてほしい」との意見があった【P10】。

<アンケート調査結果を踏まえた対応方針>

見直し内容①：定期連絡の実施【P15】

- ・ 出水時対応中に頻繁にメールを確認することは困難であるため、3 時間先までの予測水位が氾濫危険水位を超過する場合、氾濫危険水位超過が見込まれる水位観測所を連絡。
- ・ 6 時間先までの予測水位や浸水想定区域などの情報は、運用支援システムから氾濫危険情報の洪水予報文を確認。

見直し内容②：運用支援システムの更新

・意見照会結果を踏まえ、タイムライン運用支援システムについて以下の3点を修正
(次年度出水期の運用までに反映予定)。

- ① 「水位が分かる」に現地カメラを追加
- ② 別途構築中の樋門情報提供システムのリンクを追加
- ③ 「道路状況が分かる」に「とっとり雪みち Navi」のリンクを追加

(3) 今後のスケジュール等について **(資料 3)**

・令和6年5月～6月頃に、出水期前の関係機関の顔合わせや運用の流れの確認を実施予定。